

司 会 ①小田茂兄 ②宮川兄 ③浜田兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②衛藤兄

「ヤベツの祈り」

賛 美 聖歌604番 「のぞみも消えゆくまでに」  
(御手の中で、すべては変わる賛美に)

聖 書 マラキ書3章10～12節

音 楽 ① 親切組  
②③ カルバリー聖歌隊 & アンサンブル

メッセージ 「もう一人の命のために Power of Tithing」 柴田順一先生

賛 美 「暗き谷間をたどるときも」 (723番・献金)

頌 栄 「シャロームシャローム」 アーメン

祝 禱

暑中お見舞申し上げます  
熱中症にならぬようご注意ください  
愛兄弟の健康の為に祈ります  
牧師 大川従道・道子

### 石の枕

「ただ、あなたがたはキリストの福音にふさわしく生活なさい」(ピリピ1の27)。 学生時代、ギリシャ語の教師が、この箇所は「キリストの福音にふさわしく『市民生活』しなさい」と訳せると言われた。あれから50年？ 国政の選挙をサボタージュしたことはない。勿論、日曜日が選挙日になるので、前もって投票をするという方法をとって来た。今回も然り。

さて話題は外国のことであるが、鴨居のカルバリーチャペルのコラム欄にすばらしい事件が書かれていたので、それを紹介する。

2004年に、ウクライナで「オレンジ革命」という政治運動が起こりました。ウクライナ大統領選挙の結果に対して起った抗議の政治運動です。大統領選挙が行われて、その結果がテレビで報じられました。「皆さん、対立候補のヴィクトル・ユシチェンコ氏は完敗しました」と。つまり、テレビは与党候補の勝利を伝えたのです。

ところが、テレビ画面の下隅に映っている女性の手話通訳者が、次のように通訳したのです。「ウクライナの聴覚障がい者の皆さんに、お伝えします。当局の言うことを信じてはいけません。彼らは、ウソをついています。私はそのウソを訳すことなど、恥ずかしくて出来ません。ユシチェンコ氏が私たちの大統領なのです！」

何と、彼女は、野党候補が勝利した、と通訳したのです。このナタリア・ドゥミルクという手話通訳者の勇気に触発されて、聴覚障がい者が先導した運動、それが「オレンジ革命」なのです。ジャーナリストたちも、当局の公式報道を拒否しました。そのあと、オレンジ色の服装をした百万人もの人々が、選挙のやり直しを求めて、首都のキエフに押し寄せたのです。とうとう政府も、その圧力に屈して、選挙をやり直すことに同意しました。その結果、今度はユシチェンコ氏が大統領に当選したのです！ この選挙の結果、ウクライナはロシア寄りの政治から、EU(ヨーロッパ連合)寄りの政策もとり入れることができるようになったのです！

カルバリーチャペルの皆さん！ 神を第1にする生活は勿論のことですが、市民生活でも、よい証人でありましょう(文責・大川。12日記入)

#### 【大和ニュース】

- ・ 大川牧師はアラスカ宣教。本日は州都ジュノーにて説教。引き続きお祈りください。
- ・ 本日、横浜鴨居より、柴田順一先生をお迎えできて感謝します。
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、手話、SS 教師(泉礼拝堂・13時半～18時)、J. Plus等あり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に。水曜夜7時半、木曜朝10時半。説教は坪井副牧師。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は森屋伝道師。祈りこみます！
- ・ T. P. アワーは、感謝と賛美と祈りの時間。土曜夕方6時～7時。
- \* ユーオーディオコンサートは土曜日①14時②18時 初台オペラシティーにて。有料。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース:使徒行伝22章～27章 Bコース:詩篇34章～52章